

## 礼拝メッセージ (9月9日)

『流されない』

【ローマ12:2】

『この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。』(ローマ 12:2)

聖書でいう「調子を合わせる」とは、「してはいけない」「するべきではない」と思っている事を周りと同じ調子を合わせる為に本意では無い事をしてしまうという行為を示しています。しかし、私たちはいつまでも、このようにいいのでしょうか？人間は「体(外的環境)・魂(意思,思い,感情)・霊(良心,人格,直感,神との交わり)」とで構成されています。アダムとイヴが食べてはならない木の実を食べた時、この「霊」の部分が死んでしまい、それ以来神様と交わる事ができなくなってしまいました。そして、イエス様の救いの御業により私たちはもう一度、死んでしまった「霊」を生き返らせられるようになりました。神様と出会う事で「霊」が生き返り、それによって「魂」も良いもので満たされ、その結果、「体」つまり外的な目に見えるものも良いアピールができるようになるというわけです。神様は私たちの全てが良いもので満たされ、あなたが幸せになることを何よりも望んでおられます。その為には、私たちの「霊」を生き返らせる事が必要なのです。その為に**①あなたの霊に命を与える。**(ヘブル 9:14) 私たちは何を一心に求めなければならないのか。それはあなたの「霊」を変える事です。私たちは行いによって幸せになるわけではありません。「霊」(良心,人格,直感,神との交わり)の復活を求める事が何よりも大切な事です。神様とあなたとが交わる場所が「霊」の部分だからです。どんなに良い行いをしてもあなたの「霊」が死んでいては意味がないのです。魂(意思,思い,感情)を左右できるほどにあなたの「霊」は生き返っていますか？「霊」は生き返らせ続けていなければなりません。その方法とはイエス様に出会った時の事を思い出し、もう一度、あなたの救いを確認する事です。(黙視3章) **②自分はどうあるべきか考える。**(Iペテロ 1:14) 私たちは人と調子を合わせすぎです。自分はどうしたいのか、どうありたいかをはっきり持って下さい。今の立場で、またはその状況であなたはどうすべきなのか、何をすべきなのかを考えて下さい。そして考えて出た結論に**③肉(体)に従わせて下さい。**(エペソ 2:10) 体を悪い行為に調子を合わせる為に使ってはいないでしょうか。それではもったいないです。救いは行いにはよりません。ですが私たちがこの世で幸せになり、周りも幸せになる為には良い行いをしていく必要があります。エペソにもあるように私たちは神の作品であって、良い行いをする為に造られています。①、②のポイントを実践すれば良い行いは神様が用意して下さいます。「霊」を一心に変える事を求めましょう。そしてあなた本来の輝きを取り戻しましょう！全てが良いもので満たされた「流されない」人生を歩む為に！！